



スクールサポーター  
(臨床心理士・公認心理師)  
小林 真理

「うーらーぼ」  
「うーらーぼ」の「うーらーぼ」

【盗まれない財産】

「すべてに役に立つことは、すぐに役に立たなくなる。すぐ役に立たないからこそ、役に立つことになる」、先日ある講演会で聞いてハッと自分の振り返りになったきりかけの言葉です。どういふことかという、今現在の最先端技術は4.5年で古くなっていく中で、哲学・倫理・歴史など、「人間とは何か、どう自由に生きられるか」といふことを考えていくことこそ「残るもの」になつていく、といふことでした。「それ、何の役にたつのか?」「そんなことして意味あるのか?」というものが、後に物事の意味を成して行くといふことでした。

私の場合の例え話です。私は大学卒業後、「死生学」を学ぶために、数年にわたり社会人大学の聴講を続けていました。そこには、医療、産業、司法、企業、教育関係者など様々な職種の大先輩達が集まり、テーマに沿って事例・歴史、芸術・哲学・倫理、時には聴講生自身が関わった社会的な重大事などを通して「生きるとは何か」「死ぬとは何か」といふことをグループや個人で検討することを繰り返してきました。決して正解はなく、様々な問いに対して、考えを述べ合うことを繰り返して行きました。心理学を学んできていることを知っている友達からは「そんなことして何になるの?何かの役に立つの?」と聞かれることもありましたが、当時、私がなぜ「死生学」を学びたかつたかという、「心理の技術だけではなく、技術の裏付けや背景、心理士として何か芯になるものを持ってケースに取り組みたかつた」という理由がありました。とはいえず、仕事をしながらの学びは、当然ながら時間との闘いです。あまりに忙しくて煮詰まりそうになると、「ターミナルケア(終末期医療に関わること)をやるわけでもないのに、役にたつのかな」と心が折れそうになることもありましたが、軽井沢町の教育現場に携わるようになり長い時間が経ちましたが、「死生学」で学んできたことが仕事をしている上で直接的に活かしていることは少ないと思います。ですが、講演を聞いてハッとしたのは、

正解のない問いと向き合い、「じゃあ、どうする?」といふことを繰り返しながら仕事に取り組んでいたのではないかと、いふことです。つまり、相談を受けていく中で、「人間とは何か、どう自由に生きられるか、どこまで折り合いをつけたらいいのか」を自然と考えるベースとなる学びがあり、相談に対してそれぞれにカスタマイズしながら、取り組むことができていたのではないかと、と振り返ることができたのです。手前みそな話ですが、こういった振り返りができたことは、日常生活を送るうえで新しいモチベーションになると感じました。

過去の「うーらーぼ」は町ホームページからご覧になれます。



講演は「教育は自分のことを知ること。上から与えられるのではなく、自ら考え、自ら問を立て、自ら学び続けること」と締めくくられています。自分のこととして学ぶことで、誰もが「盗まれない財産」を積み立てることができると感じました。

歴史民俗資料館 収蔵品展

「浅間山とともに生きる」

1950年代の軽井沢  
浅間山の自然や、そこでの暮らしを描いた戦後の児童版画を中心に、当館所蔵の1950年代の歴史的資料を展示します。

とき 8月9日(金)から  
11月15日(金)まで



【問い合わせ】  
歴史民俗資料館 電話426334

児童館幼児のつどい・子育て支援センター合同

【三二運動会】

とき 9月12日(木)  
10時15分から11時まで  
(受付 10時から)

ところ 風越公園総合体育館  
(メインアリーナ)

対象 就園前の親子

持ち物 上履き、飲み物、タオル

申込方法 最寄りの児童館または子育て支援センターへ事前に申し込んでください。

【問い合わせ】  
子育て支援センター(るるる) 電話4557744

軽井沢の植物と方言 89

火矢に見立てた? お盆花  
カセンソウ



町内の日当たりのよい草地等に生え、北海道、本州、四国、九州等に分布する多年草です。7月下旬から8月上旬頃、黄色の花をつけます。

漢字では歌仙草または火箭草。火矢は、昔、戦で火をつけて射た矢のことで、これに見立て名づけられたのではというもの。

方言と由来

①ボンバナ

お盆の頃に咲く花の意味。

他にもオミナエシ、カワラナデシコ、キキョウ等もボンバナとよばれることがあります。

【参考文献】佐藤邦雄(1978) 信州佐久の植物方言

【問い合わせ】  
植物園 電話483337